

# 北海道清里高等学校

## ～地域とともにある学校を目指して～

1学年1クラス（定員40名）の清里高校は過去に入学者の大幅な減少がありました。近年は斜里町や小清水町の生徒からも進学先として選ばれるようになり、毎年30名を超える生徒が入学しています。

今年38名の新入生を迎え、3学年合わせて100名の生徒が勉強や部活動など、自分の夢を叶えるために日々努力を積み重ねています。

### 清里高校自治体別入学者の推移

	H27	H28	H29	H30	R1	R2	R3
清里町	10名	13名	18名	19名	14名	13名	14名
斜里町	—	9名	2名	2名	8名	8名	7名
小清水町	2名	13名	17名	15名	8名	8名	16名
その他	—	1名	2名	4名	1名	3名	1名
合計	12名	36名	39名	40名	31名	32名	38名

### 令和3年3月卒業者の主な進路

- 進学  
釧路公立大学・立命館大学・藤女子大学・札幌大学・北翔大学・中央学院大学・流通経済大学・旭川大学・新潟医療福祉大学・日本赤十字社北海道看護大学・北海道立農業大学校・日本工学院北海道専門学校・北海道歯科技術専門学校 ほか
- 就職  
清里町農業協同組合・斜里建設工業株式会社・北海道旅客鉄道株式会社・網走信用金庫・生活協同組合コープさっぽろ ほか

### 多彩な進路実績

清里高校の卒業生は、道内外の大学や専門学校への進学のほか、就職についても地元を中心に多くの卒業生が希望の進路を実現させており、進路選択の幅が充実しています。

### 多様性を育む環境と学習活動

近年、町外からの入学者も増えていく清里高校では、中学校までを違う環境で過ごした新しい仲間との出会いが生まれています。

生徒たちは、自分とは違う考え方や価値観を持った仲間との学校生活、姉妹校であるニュージーランドのモトエカ高校との交流やユネスコスクール型体験授業などを通して、日々多様性を認め合う心を育んでいます。

また、希望する生徒による小学生の学習サポートボランティアを通じた異世代間交流をはじめ、交通安全街頭啓発やJR清里町駅の美化活動など、地域愛を育むさまざまな学習活動も積極的に行われています。

生徒たちは、こうした清里高校ならではの環境と学習活動を通して、多様な人々と協働しながら生きていくという、人として大切な力を磨いています。



交通安全啓発などの地域活動にも取り組んでいる



ニュージーランドモトエカ高校との交流

昭和26年に斜里高校の分校としてスタートした清里高校は、70年近い歴史をつむぎ、今も進化し続けています。そんな清里高校の「いま」をご紹介します。地域とともにある学校づくりを目指している清里高校を応援してください。

### 充実した学校環境

清里高校では、生徒が快適な学校生活の中で学びに集中できるように、さまざまな学校環境が整備されています。

○T-Baseコース（遠隔授業配信システム）

清里高校に在籍したまま、札幌から遠隔配信される難関大学受験に対応した授業を受けることができます。

○自習コーナー

図書館内に自習用個別ブースが設置されています。

○タブレット端末の整備

タブレット端末51台が整備され、オンライン授業などで活用されています。

（今年度中に約90台まで追加整備予定）

○校内WiFi化

タブレット端末の使用に合わせて、各教室にアクセスポイントが設置され、WiFiでのインターネット接続が可能となりました。

○エアコン設置などの暑夏対策

冷暖房・換気機能付きの最新型エアコンや大型冷風扇、空気清浄機などが整備されています。

○生徒玄関の自動ドア化

今年度中に、生徒玄関の自動ドアへの改修が行われます。

○女子トイレ洋式化

和式トイレの一部が改修され、温水便座付の洋式トイレになりました（今年度中に追加改修予定）。

### 町から清里高校への支援

（令和4年度入学生に適用される主な支援）

- 部活動支援事業補助  
部活動の各種大会参加経費や外部講師招へいにかかる経費を補助します。
- 進路選択支援補助  
模擬試験や英検、漢検、簿記などの資格取得にかかる経費を補助します。
- 魅力ある教育活動推進事業補助  
広報活動やCSコーディネータの配置など、質の高い授業を行うための経費を補助します。
- 国際理解教育推進事業  
交換留学生事業へ補助を行うほか、町から外国人英語講師を派遣します。
- 通学支援補助  
町外からの通学者へ交通費やスクールバス運行補助を行います。
- 学校給食の実費提供

## 生徒インタビュー

私たちのクラスは半数以上の生徒が清里町外から通っており、春から新しい仲間とともに楽しく学校生活を送っています。

数学の授業では初めて遠隔配信授業を受けていますが、大きなスクリーンに映像が映し出されるため、いつもの授業と変わらずに学ぶことができます。地元にながらこうしたレベルの高い授業を受けられること、模擬試験や各種検定が受けやすいことも清里高校の魅力です。

勉強面ではこうした環境を活かして将来の進路実現を目指し、普段の学校生活では人とのつながりを大切にしながら、高校生活を充実させていきたいです。



太田 さくらさん (1年生)

清里高校は全校生徒は多くないですが、その分生徒同士の仲が良く、進路相談の際には先生方が生徒一人ひとりに親身になって寄り添ってくれます。

学校生活では、ニュージーランドでの海外研修や地域での活動など、清里高校でしかできない貴重な経験を通して、多くのことを学ばせていただきました。昨年はコロナ禍でほとんどの行事が中止となりましたが、それも今では日常のありがたみや行事ができることの素晴らしさを知る良い経験になったと感じています。

高校卒業後は清里町で社会人となる予定です。高校生活で得た経験を活かしてこの町に貢献し、少しでも恩返しできるよう頑張りたいと思います。



小山 乃愛さん (3年生)